

# 楽園の庭

夏油傑 × 虎杖悠仁

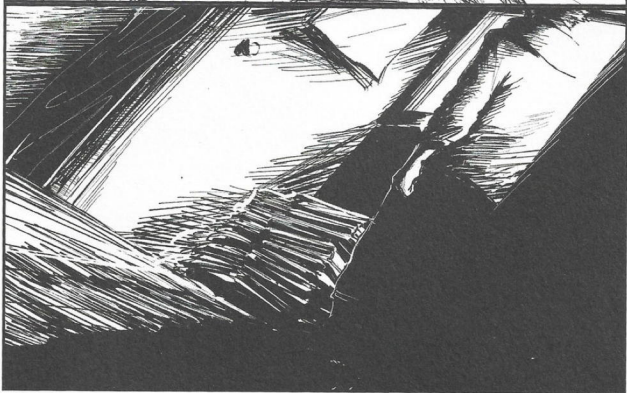
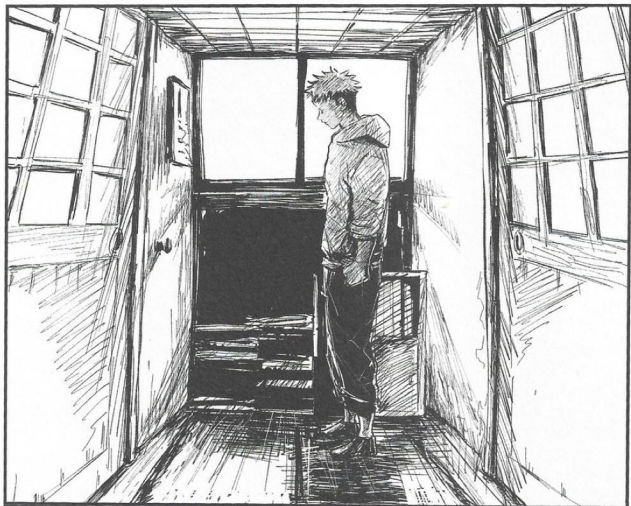
らくえんのにわ

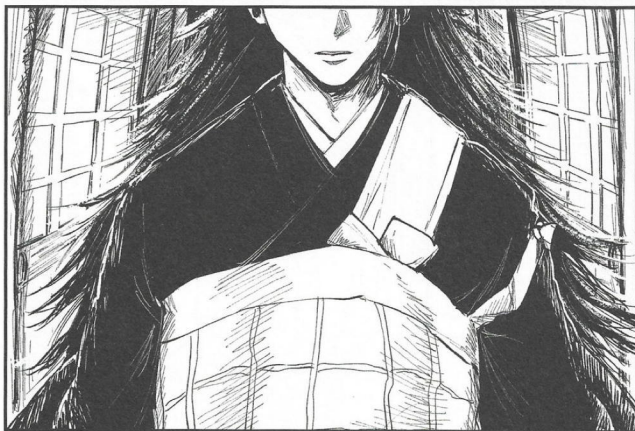
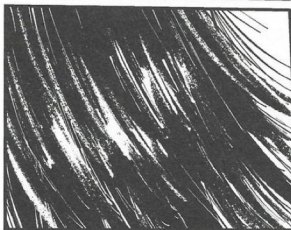
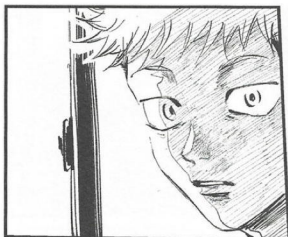
成人指定



夢  
知









ここは  
夢なんだから

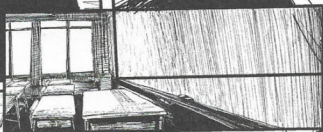


アンタ誰？

おんた  
なすんじ



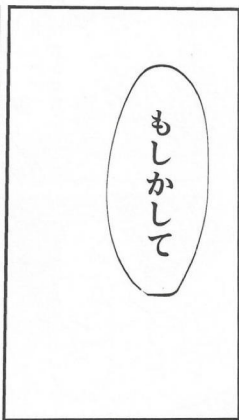
名なんて  
いいだろう



アンタお坊さん？

俺  
アンタみたい人と  
会ったことないよ

そうだね



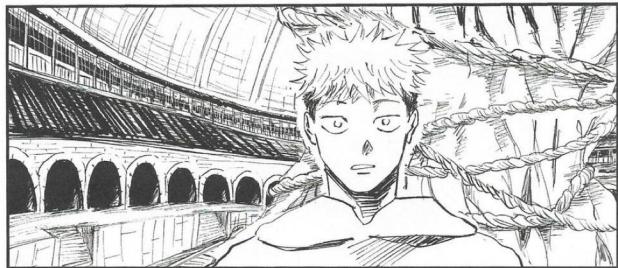
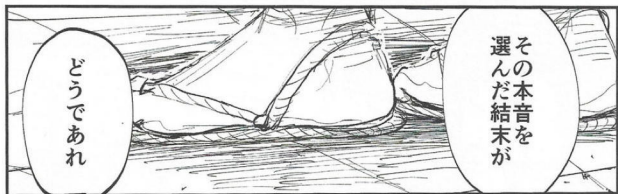
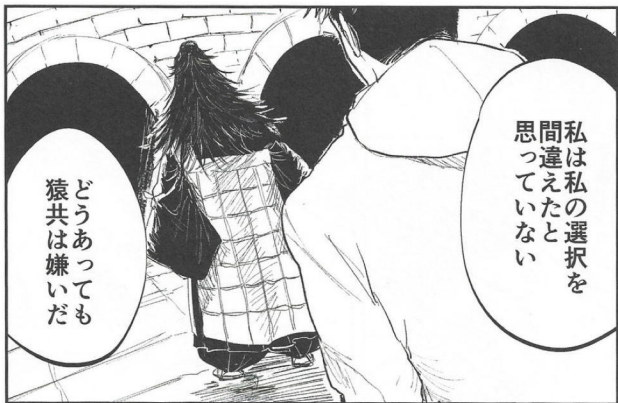





そう言う奴は  
いやだよ



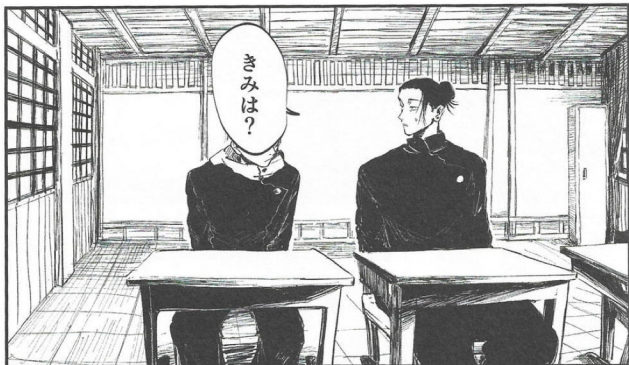






よ  
か  
っ  
た  
よ

君  
と



きみは？



気がついたら  
ここに  
いんだよな



まあ  
いいじゃん

夢なんだし



俺？

あー




妙な夢だな



俺 多分さ

授業中に  
寝ちゃったん  
だわ

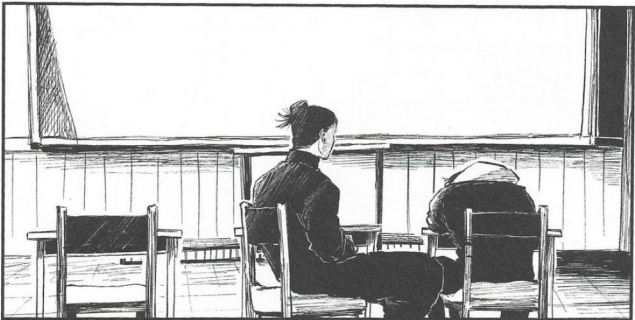


昨日の  
任務やたら  
長かったら  
かな

てかアンタ  
先輩だよな

先輩ってよんでいい？

好きに  
呼んでくれて  
構わないよ

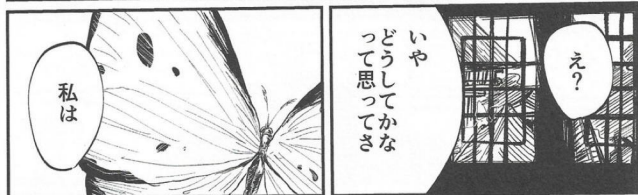


なあ  
聞いてもいい？

先輩はさ



どうして  
呪術高专に  
入ったん？



私は

いや  
どうしてかな  
って思ってたさ

え？



それが  
私の役割だと  
思っているからね



そう



役割？



非術師を守る  
責任が  
私にはあるのさ



呪術を  
得ている限り

強者は弱者を  
守るために  
存在する



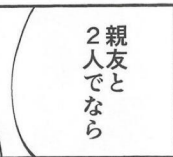
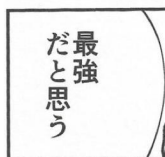
じゃあ  
アンタは強いんだ



そっか



親友に話すと  
嫌な顔を  
されるんだけど



普段は  
いい加減だけど

マジで  
最強なんだわ

俺も人を  
助けられるように

先生に最強を  
教えてもらってん  
だよ

へえ

大分  
慕われているな  
その先生

うー……ん

それはどうだろ

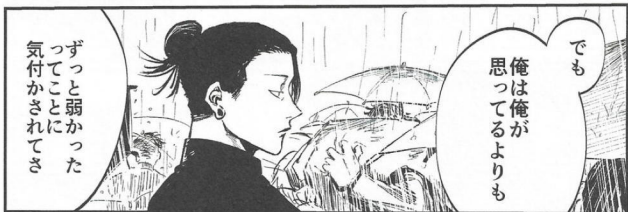






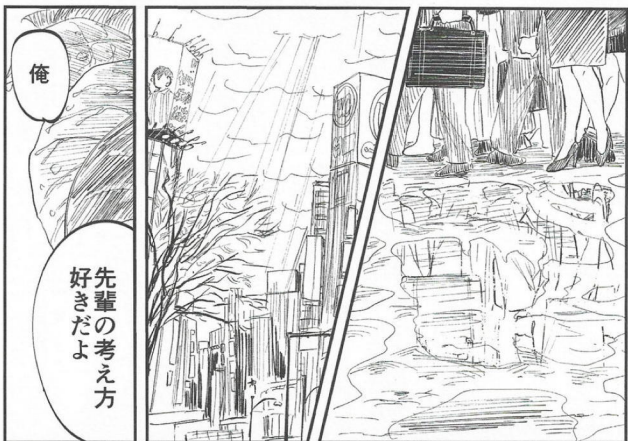
生き様で後悔  
したくないって  
そう言ってる  
この学校に  
来た

じいちゃんの  
言葉が頭から  
離れなくて



でも  
俺は俺が  
思ってるよりも

ずっと弱かった  
ってことに  
気付かされてさ



俺

先輩の考え方  
好きだよ



先輩みたいに  
強くなりたい



俺もなりたい



熱烈な  
告白だね



けど



どうやら

君のお目は  
高いようだ

やっば先生に  
似てるよな！





おい

傑  
もう昼だぞ

おまえ  
授業中  
寝てたのかよ

悟よりは  
うまくやるさ

俺は堂々と  
寝てんだよ

よく  
バレなかったな





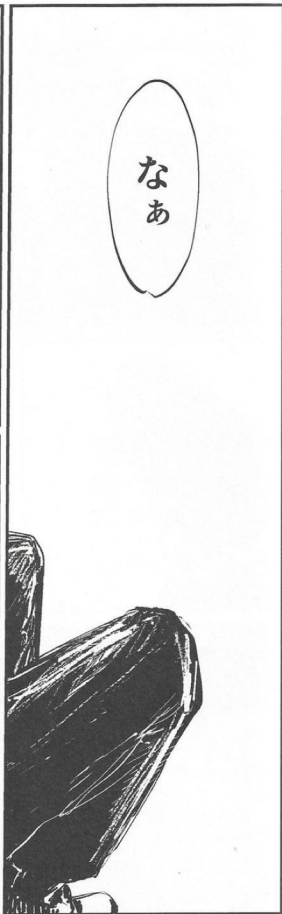






もし俺たちが  
出会ってたら

どうなってる  
たんだろうな



なあ



結果は  
何も変わら  
なかつたさ



アంతと  
話すの  
楽しくて好きだよ

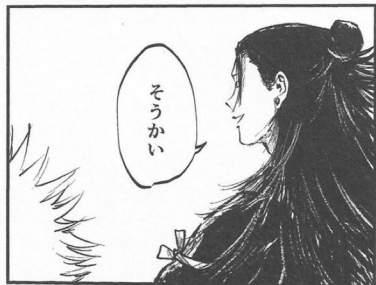
俺



呪いを  
食ってる  
仲間に  
会えたしな



でも  
話させて  
よかった



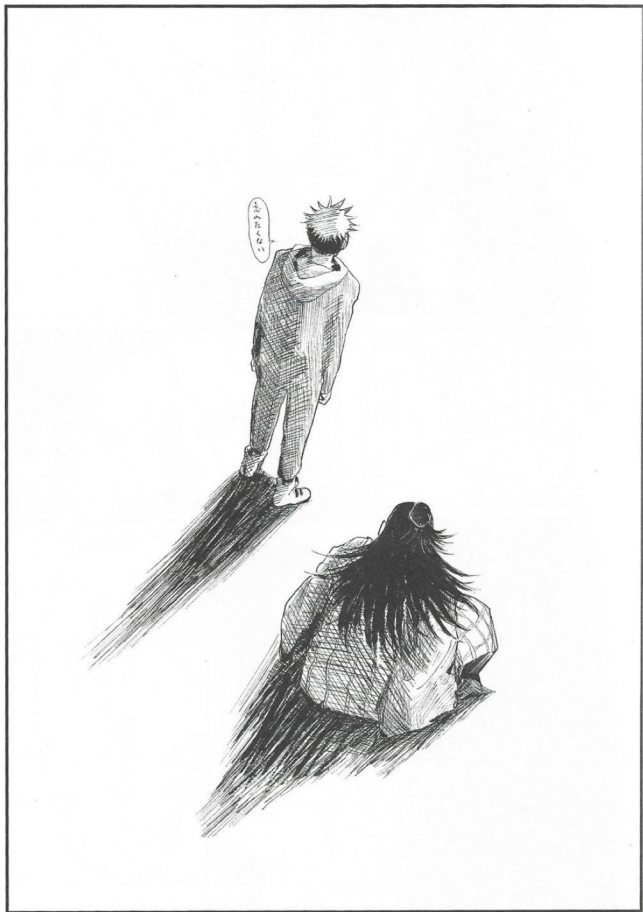
そうかい

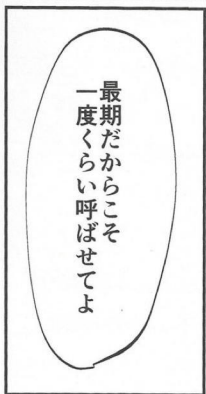
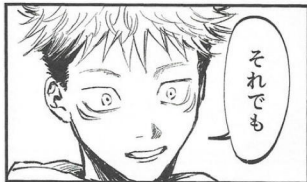


また  
話せるんかな











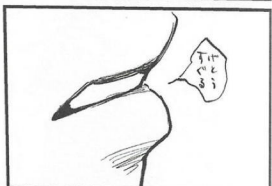
夏油傑だよ



夏油



夏油さん



アハハ



なんだい？

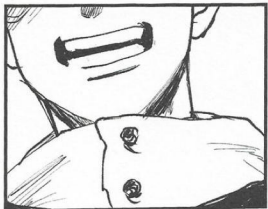
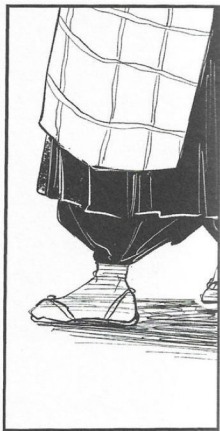


呼んで  
みただけ

ハハハ

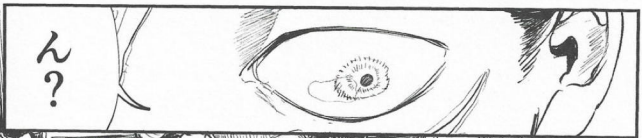
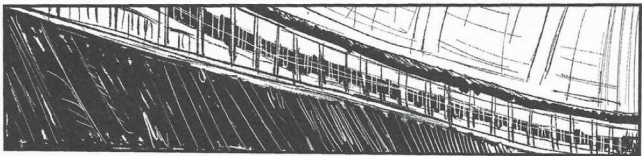












ん？



血痕？



楽園の庭

らくえんのにわ

ありえんくらい  
暑い…

なんてったっけ…  
なんちゃら現象…  
ら？にゆ…  
にや？らにゆ…

に、にや…にや…

あ  
ん

ゼン  
ゼン

わア!!!?

そ！  
今日もばっちし  
祓ってきたよ！

いやはや現象のせいで  
いちいち…  
ヤッたかして



びっっくり  
したあ…

おまね！

おまね  
任務帰るかい？

いやはや現象のせいで  
いちいち…  
ヤッたかして





…実はあんま  
大丈夫じゃない



最近任務続き  
みたいだけど  
大丈夫？



それは…

全然



報告書の書き方が  
わからんくて…!!

へいばーん

毎回毎回  
ヤガセンに再提出  
させられんだけど  
それがもうストレスで  
さあ!

なんで  
「ナマコっぽい呪霊に  
パンチしたらめめるの  
白いのふっかけられて  
窒息するかと思った」  
って書き方じゃ  
だめなん!?!

ふはっ

あはは  
ごめんごめん  
……

ふふふ

あ!  
人が真剣に  
悩んでるのに!!

お詫びに添削  
してあげようか?

へっ!?

やっ……



今夜私の  
部屋において

今日は遅く帰った

やっべえららら!!

髪がうねね  
匂いよし

服装よし

手土産よし

片思い相手の  
部屋に呼ばれる  
とか嬉しすぎる

けど

正直死ぬほど  
緊張する!!

片思い  
相手の  
部屋の子



たのも

カッ  
カッ  
カッ

カッ  
カッ  
カッ

だが  
据え膳食わめは  
男の恥!!

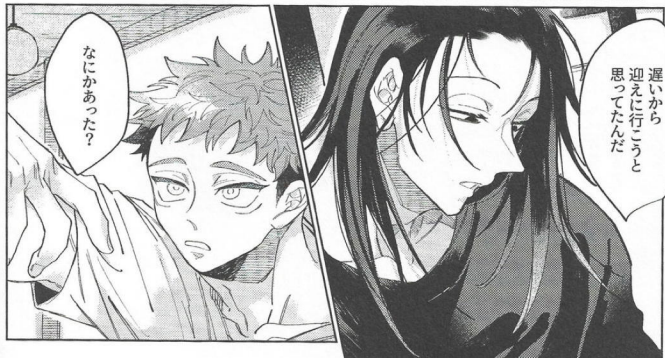


わ虎杖ごめん!  
気づかなかった

大丈夫  
です...

...ツ!!  
...ツ!!

カッ  
カッ  
カッ



なにかあった?

遅いから  
迎えに行こうと  
思ってたんだ

まさか部屋の前で  
ずっと気合入れてた  
なんて言えない

いめ…

ああ

あ〜…  
ちよっと風呂  
長引いちやって!

グウ…っ!!

きんぴらぞ  
上がって

オジャシマス…

だからいい匂いが  
するんだね



「タコみたいな  
うねうねした足が  
ある呪霊で…」

「蛸に似た  
紆曲する触手が…」  
かなあ

たくさんいたけど  
ワンパンで倒せるくらい

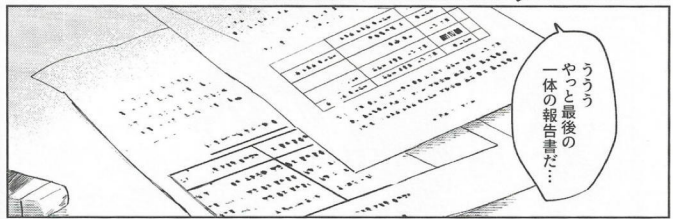
「今回は集団で  
確認されたものの  
個々の耐久力は  
一撃で払うことが  
できる程度で」

「油断したら途中  
もじゃぐつてきて…」

なんて??



じゃあとりあえず  
今日倒した呪霊に  
ついての報告書から  
書いていこうか



ううう  
やっと最後の  
一体の報告書だ…



ていうかなんで  
こんな事細かに  
報告書書かなきゃ  
ダメなん?

倒せた!  
だけじゃダメ?

まあ確かに  
面倒ではあるけど



めっちゃ  
添削させて  
ごめんね先輩

いいんだよ  
気にしないで

こういうのは  
他の人が似たような  
呪霊に遭遇した時適切に  
対応できるようにするため  
だからね

できるだけ  
細かく書いた方が  
分かりやすいだろう？

なるほど  
生徒指導室にある  
入試面接の過去録  
みたいなものか！

入試面接…  
まあそうだね

まゝ俺は説教されに  
しか行ったことないから  
自分では読んだ事ないけどね！

なにやったの？

いろいろ！  
でもほぼ喋喋！

ああ  
「西中の虎」  
だもんね

それやめてって  
はずいから！！！！



これまで呪術なんて  
無縁の世界で  
生きてきたのに

突然訳の分からない  
化物と戦うことになって

…あんな  
考えたことない

あの時も今も辛いつーか  
なんていうの 後悔？は  
したことないかな

そもそも  
俺が宿儺の指食ったから  
こうなったんだし

確かに俺まだまだ  
弱いからいつつも  
命がけだし毎日  
楽じゃないけど

呪霊を祓うのも  
宿儺を消すのも  
呪術師じゃないと  
できないことじゃん？

まあでも

だから普通に生活するよりも呪術師になれてむしろ良かったっていうか…

…今回の君の事例だけじゃなく呪霊は際限なく大量に発生する

非術師のせいで

…なんか

う〜ん  
キリないからって  
辞めたいって  
なんないかなあ

どっちかかっていうと  
もつと頑張んなきゃって  
気になるかな！

呪霊が見えん  
普通の人のことは  
俺らが守ってやらんと  
どうしようもないしね！

たくさんいるなら  
その分きりきり  
払っていかんと！

死と隣り合わせで  
明日には自分も仲間も  
五体満足でいられる  
保証はない







気付かなかったとはいえ  
悪いことしたなあ

具合悪かったんか…



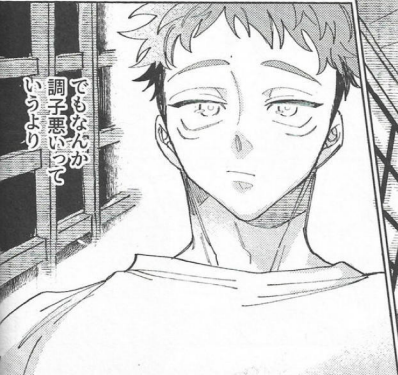
それとも  
最近暑い  
からとか…



先輩体調管理  
完璧なのに珍しいな

うーん特級になって  
前より忙しいから？

まぎ…



でもなんか  
調子悪いって  
いうより



なんか




なんていうか



違和感……？





夏油先輩が呪詛師として  
処刑対象になったのは  
それからすぐのことだった

素晴らしいね



私のところまで  
来ることができた  
呪術師は君が  
初めてだよ




まあ最後は  
私自ら招き入れた  
わけだが



なに  
やってんだよ


夏油先輩……!!





猿に期待した私が  
浅はかだったね

…私はね  
気付いたんだ



生まれながらにして  
呪術に連なる私たちの  
ような者は疑うべくも  
ない強者だ

そんな強者が君たちの  
ような弱者を己の命を  
かけてまで守る道理が  
どこにあるというんだ？

猿どもの  
醜さと愚かさを

でも……

呪いの源は  
非術師だ

自分たちの身から出た錆  
なのだからそれで死んだとて  
自業自得というやつさ


強者に助けられ  
なければ生きら  
れないくせに

その強者から  
目を背け


奉仕を  
当たり前前の  
ものとする社会

全てが醜悪で  
歪だとは思わないかい？






この世は弱肉強食



本来あるべきは  
非術師のような弱者が  
淘汰され強い……  
呪術師だけが  
生きる世界なんだよ



私の理想とする楽園に  
非術師は必要ない

だから  
呪術師以外  
殺すって…？

そうだ

意味  
わかんねえ…

今まで高専で  
呪術師やってた  
夏油先輩は  
嘘だったって  
こと？



いいや  
嘘ではないよ

あの頃はまだ  
自分の本音に  
気付けていな  
かっただけさ



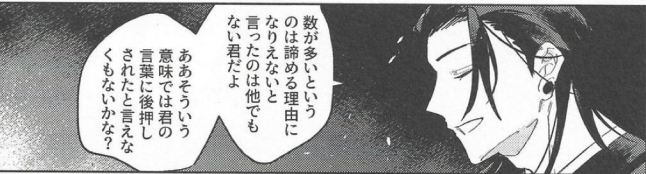
…仮にそれやる  
としてとんだけ  
の数いると  
思ってるの

絶対に  
無理だよ



数が多いという  
のは諦める理由に  
なりえないと  
言ったのは他でも  
ない君だよ

ああそういう  
意味では君の  
言葉に後押し  
されたと言えな  
くもないかな？



感謝するよ  
虎杖

先輩…ッ！



：君は私の世界には  
いない存在だが  
今は呪術師

おまけに爆弾入り

じき死ぬのだから  
生かしておいて  
あげてもいい

ただ私も  
多忙の身でね

今日のように  
また世間話をしに  
やってこられても困る

私は優しいからね

もう二度とそんな気が  
起こらないように  
してあげよう



あ…っ！  
う…っ

ああ  
またこんなに汚して  
畳って割と  
高いんだよ？

高専に  
請求するかい？



畳が虎杖の  
精液で汚れ  
ましたって



でも先輩が…

先輩が？  
いや俺が…？




止めに来たのに

なんで俺先輩と…  
好きな人と  
セックスしてるんだろ

分かんない

止まないと


止めないと




ならこれは  
失敗したかな？  
むしろご褒美と  
なってしまった  
みたいだね

うん  
上手いくと  
思ったんだが


なにが…




呪術師よりも  
娼婦の方が向いてるよ



だって虎杖は  
私のことが好き  
なんだろう？




は…  
はは  
気付いてないけども  
思ってたのかい？



ずっと物欲し  
そうな顔で私の  
ことを見ていた  
だろう？

しかし…

こんなにすんなり  
受け入れて  
ぐずぐずにして…



やっぱり自慰は  
ココを使って  
していたのかい？



大好きな  
私のことを  
考えながら

………！



気の毒だね虎杖  
惚れた相手が  
こんな男で

好いた相手に  
今までずっと  
玩ばれていた  
気分はどうだい？



先輩は  
いつだって

ほら  
どうだい

ああ初恋だった  
ならごめんね？



俺の目標で

憧れで

こんなに  
なった  
今でも

大好きな人で

これで嫌いに  
なれたらどう？

今の自分の顔

見せてやりてえ





俺の部屋…？

フーン

伏黒…

やっと起きたか

お前今朝高専の入り口で寝てたろ

お前の体は  
どうなってる

伏黒

の100-

最近姿見ねえと  
思ったら何してんだよ

キンコンカン

え、と  
それは…

あっ、釜!

心配かけて  
ごめんな!  
でもヘーキ!

後から行くから先  
教室行っていいよ!

はあ

後でちゃんと  
聞かせよう

おっけ!

これ  
先輩のだ…

身体全然  
痛くない  
…

これで嫌にな  
れただろ

嫌になんて



なれるわけないのに

- 無断転載、ネットオークションやフリマアプリへの出品、SNSや動画サイトへの投稿を固く禁じます。
- この本は二次創作物です。著作権者様とは一切関係ございません。
- Unauthorized reproduction, sale via net auctions and flea market apps, and posting to social media and video sharing sites is strictly forbidden.
- This book is a derivative work.
- It bears no connection to the copyright holder of the original work.

## 楽園の庭

5月の庭は雨 \_\_\_\_\_ まみやま \_\_ 楽園の庭  
寄稿 \_\_\_\_\_ 亡茄子 \_\_ 無知

発行日：2022年3月21日

印刷所：スターブックス

連絡先：orient\_momizi@yahoo.co.jp

まみやま (@namioka0001)

亡茄子 (@Voonasu7)



jujutsukaisen unofficial  
Fanbook #02  
Presented by mamiyama

呪  
界  
の  
宝  
庫